



## 乙研第1回例会開催 \ 参加43名 テーマは「乙訓の水道問題を聞く」 お話は 弁護士の森川明さん

6月20日(金)18:30～おつ研の「乙訓地域を知る」というテーマで行う例会の第1回として、乙訓での直近の大きな話題である大山崎町が府を訴えた「乙訓の水道問題」を題材に開催した。まず、訴えの当事者である大山崎町の代理人森川弁護士から、訴状の解説・報告いただいた。また、水道問題研究家の佐川さんも出席いただけたので、佐川さん提供の資料の説明や研究の中で明らかになって点など、質問に応える形で発言をいただいた。

参加者からは、「一住民が、京都府に法外な負担をさせられていると訴えることは可能か」など質問が出され、森川弁護士から現行法律上からは、個人としての訴えについては困難などの法的な説明を受けた。

### 参加者の討論の中で、ダム建設と住民負担問題が浮上

乙訓での府営水道導入が、なぜこんなに住民への負担増、自治体財政を脅かすほどの負担になるのかという疑問。参加者からの質問や意見交換の中で、計画の不透明さ、

当初の計画から京都市の脱落、飲み水と工業用水の両方の使用を前提に組み立てられた水量計算から、いつのまにか工業用水が抜けているのに使用水量が変わらない問題などが浮き彫りになってきた。使えない、使わない水量分を払わされる住民に、瑕疵があるのか。疑問は深まるばかりだ。

事実は知らされていない、知らないという実態も問題だ。自治体が赤字に陥らざる得ない事実。知事は「大山崎町の努力はどうだったのか」(新聞報道による)と、府への疑問には応えない姿勢を明らかにしたが、地方自治体や首長として、これでよいのか。

(裏へ)

### お知らせです

#### 1. 第2回例会について

世話人会では、第2回乙訓を知る例会について、保育所が創られた当時の保育運動や学童運動について聞く例会にしよう準備を始めている。9月開催を目処に、詳細が決まればお知らせする。

#### 2. 第1回行財政分析検討会のお知らせ

6月27日(金)午後6時から

大山崎町職の書記室をお借りして検討会を行う。

第1回検討会では、当面大山崎町の財政分析を軸に、検討課題と作業の手順などを相談する。

#### 3. 次回の世話人会日程のお知らせ

7月7日(月)午後6時から

大山崎町書記室で第3回おつ研世話人会を行います。(夏のちょっとした納涼交流会についての企画も相談します)

## この問題をさらに深め住民に分かりやすく知らせる必要

乙訓水道問題は、単に料金ギャップだけでなく、宇治などの宇治川水系、城陽などの木津川水系に関わる問題へとすすんでおり、環境問題、今後の行政の進めるべき方向とも関わる。参加者からは「更に検討・学習を深め分かりやすく住民に知らせ、解決の方向を見いだそう」という問題意識が感想として出された。

乙訓2市1町の「水道問題」で運動をつづける住民運動団体が協力して、8月2日には大山崎で、淀川水系流域委員会(<http://www.yodoriver.org/>)の委員長 宮本博司さんをお招きする学習会・シンポを開催する予定だそう(詳細が分かればおつ研ニュースでもお知らせする)。2月に開催された乙訓自治研集会の「水と緑とまちづくり分科会」での議論から、さらに乙訓の水問題について深めていく動きが始まっている。



#### 厳しい財政状況

府営水の受水後、水道会計は赤字になり、平成18年度末の累積赤字額は6億円を超えました。  
赤字の主な原因は、府営水道の重い負担にあります。

(平成18年度の赤字が減少しているのは、平成16年度に27.5%の料金改定と、一般会計から2500万円の繰入を行ったためです。)

	収入	支出	府営水受水費(%)	収支	累積
府営水道導入・前(平成11年度)	422,466	383,965	-	38,501	38,501
府営水道導入・後(平成13年度)	408,094	583,394	265,581(46%)	-175,300	-163,111
料金改定・後(平成18年度)	486,776	537,476	266,349(50%)	-50,700	-655,302

(単位:千円)